

Sun Blade X3-2B (旧 Sun Blade X6270 M3) ESX ソフトウェアインストールガイド



Part No: E36280-01
2012 年 7 月

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS:

Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are “commercial computer software” pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはOracle Corporationおよびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Intel、Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

目次

| | |
|--|----|
| このドキュメントの使用方法 | 5 |
| Sun Blade X3-2B モデル名の変更 | 5 |
| 最新のファームウェアおよびソフトウェアの取得 | 5 |
| ドキュメントとフィードバック | 6 |
| このドキュメントについて | 6 |
| サポートおよびトレーニング | 6 |
| 寄稿者 | 7 |
| 変更履歴 | 7 |
| Sun Blade X3-2B VMware ESXi インストールガイドについて | 9 |
| VMware ESXi 5 のインストールについて | 11 |
| インストールのタスクマップ | 11 |
| VMware ESXi 5 およびサーバーモジュールのドキュメント | 12 |
| サポートされているソフトウェアバージョンおよびサーバーモジュール更新 ... | 12 |
| ソフトウェアのインストールオプション | 12 |
| 単一サーバーでのインタラクティブインストールの方法 | 13 |
| ESXi 5 のインストールの準備 | 15 |
| ローカルインストールの設定 | 15 |
| リモートインストールのセットアップ | 16 |
| 必要な情報の収集 | 17 |
| BIOS モードの設定 | 18 |
| 仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定 | 19 |
| VMware ESXi 5 のインストール | 21 |
| ローカルまたはリモートのインタラクティブインストールを使用した VMware ESXi 5 のインストール | 21 |
| VMware ESXi 5 ドライバのインストール | 22 |
| VMware ESXi 5 の更新 | 23 |
| サーバーファームウェアとソフトウェアの入手 | 25 |
| ファームウェアとソフトウェアのアップデート | 25 |
| ファームウェアおよびソフトウェア入手のオプション | 26 |

| | |
|----------------------------|----|
| 入手可能なソフトウェアリリースパッケージ | 26 |
| ファームウェアとソフトウェアの入手 | 28 |
| アップデートのインストール | 32 |
| 索引 | 35 |

このドキュメントの使用方法

このセクションでは、システムの最新のファームウェアとソフトウェア、ドキュメントとフィードバック、およびドキュメント変更履歴の入手方法を説明します。

- 5 ページの「Sun Blade X3-2B モデル名の変更」
- 5 ページの「最新のファームウェアおよびソフトウェアの取得」
- 6 ページの「ドキュメントとフィードバック」
- 6 ページの「このドキュメントについて」
- 6 ページの「サポートおよびトレーニング」
- 7 ページの「寄稿者」
- 7 ページの「変更履歴」

Sun Blade X3-2B モデル名の変更

Sun Blade X3-2B の旧称は Sun Blade X3-2B です。この名前がまだソフトウェアに表示されている場合があります。名前の変更は、システム機能の変更を示すものではありません。

新名称の意味は次のとおりです:

- X は、x86 製品であることを意味します。
- 最初の数字 3 は、サーバーの世代を意味します。
- 2 番目の数字 2 は、プロセッサの数を意味します。
- アルファベット B は、ブレードサーバー製品であることを意味します。

最新のファームウェアおよびソフトウェアの取得

Oracle x86 サーバー、サーバーモジュール (ブレード)、およびブレードシャーシのファームウェア、ドライバ、およびその他のハードウェア関連ソフトウェアは、定期的に更新されています。

最新バージョンは次の 3 つのうちいずれかの方法で入手できます:

- Oracle System Assistant - これは、Sun Oracle x86 サーバー用の、出荷時にインストール済みの新しいオプションです。OSA は必要なすべてのツールとドライバを備えており、ほとんどのサーバーに取り付けられている USB ドライブに格納されています。

- My Oracle Support – <http://support.oracle.com>
- 物理メディアのリクエスト

詳細については、[25 ページ](#)の「サーバーファームウェアとソフトウェアの入手」を参照してください。

ドキュメントとフィードバック

| ドキュメント | リンク |
|---|---|
| すべての Oracle 製品 | http://www.oracle.com/documentation |
| Sun Blade X3-2B | http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=SunBladeX3-2B |
| Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.1 | http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=ilom31 |
| Oracle Hardware Management Pack | http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=ohmp |

このドキュメントについてのフィードバックは次からお寄せください:<http://www.oracle.com/goto/docfeedback>。

このドキュメントについて

このドキュメントセットは、PDF および HTML の両形式で入手できます。情報はトピックに基づく形式 (オンラインヘルプと同様) で表示されるため、章、付録、およびセクション番号は含まれません。

特定のトピック (ハードウェア設置やプロダクトノートなど) に関するすべての情報が含まれる PDF を生成するには、HTML ページの左上にある PDF ボタンをクリックします。

サポートおよびトレーニング

次の Web サイトに追加のリソースがあります:

- サポート:<http://support.oracle.com>
- トレーニング:<http://education.oracle.com>

寄稿者

主著者: Lisa Kuder、Ray Angelo、Mark McGothigan、Cynthia Chin-Lee。

寄稿者: Yi Cai、Kenny Tung、Salomon Chavez Velazquez、Daniel Silverman、Johnny Hui、Angela Vlahos、Anand Srinivasan、Darren Tran、Mark Stanton、Denise Silverman、Ralph Woodley、Mick Tabor

変更履歴

次の一覧はこのドキュメントセットのリリース履歴です:

- 2012 年 4 月。初版。
- 2012 年 5 月。SW 1.0.1 に合わせて更新。改訂版ドキュメントライブラリを再リリース。
- 2012 年 6 月。SW 1.1 に合わせて更新。プロダクトノートとサービスマニュアルを改訂。
- 2012 年 7 月。サーバーモデル名の変更。全ドキュメントを改訂。

Sun Blade X3-2B VMware ESXi インストールガイドについて

注 - 重要: Sun Blade X3-2B は以前は Sun Blade X6270 M3 サーバーモジュールという名前でした。この名前がまだソフトウェアに表示されている場合があります。名前の変更は、システム機能の変更を示すものではありません。

このドキュメントでは、VMware ESXi 5.0 をインストールする方法について説明します。次のセクションがあります:

| 説明 | リンク |
|---|--|
| VMware ESXi 5 および利用できるインストール方法について学習します。 | 11 ページの「VMware ESXi 5 のインストールについて」 |
| インストール要件を確認し、VMware ESXi ソフトウェアを入手します。 | 15 ページの「ESXi 5 のインストールの準備」 |
| VMware ESXi ソフトウェアのインストールを完了します。 | 21 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」 |
| サーバーモジュールファームウェアおよびソフトウェアへアクセスする方法を学習します。 | 25 ページの「サーバーファームウェアとソフトウェアの入手」 |

VMware ESXi 5 のインストールについて

このセクションでは、次のトピックについて説明します:

- 11 ページの「インストールのタスクマップ」
- 12 ページの「VMware ESXi 5 およびサーバーモジュールのドキュメント」
- 12 ページの「ソフトウェアのインストールオプション」
- 13 ページの「単一サーバーでのインタラクティブインストールの方法」

インストールのタスクマップ

次の表に、VMware ESXi ソフトウェアの大まかなインストールタスクを示します。

| 手順 | 説明 | リンク |
|----|--|---|
| 1 | VMware ESXi 5 ドキュメントにアクセスします。 | 12 ページの「VMware ESXi 5 およびサーバーモジュールのドキュメント」 |
| 2 | サポートされている VMware ESXi バージョンについて学習します。 | 12 ページの「サポートされているソフトウェアバージョンおよびサーバーモジュール更新」 |
| 3 | VMware ESXi 5 のサーバーインストールオプションについて学習します。 | 12 ページの「ソフトウェアのインストールオプション」 |
| 4 | どのインタラクティブインストール方法を使用するかを判定します (必要な場合)。 | 13 ページの「単一サーバーでのインタラクティブインストールの方法」 |
| 5 | VMware ESXi 5 のインストールのためにサーバーモジュールを準備します。 | 15 ページの「ESXi 5 のインストールの準備」 |
| 6 | 利用可能なオプションのいずれかを使用して VMware ESXi 5 ソフトウェアをインストールします。 | 21 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」 |
| 7 | VMware ESXi 5 ソフトウェアを更新します。 | 23 ページの「VMware ESXi 5 の更新」 |

VMware ESXi 5 およびサーバーモジュールのドキュメント

VMware ESXi 5 のドキュメントはここで入手できます:

<http://pubs.vmware.com/vsphere-50/index.jsp>

サーバーの最新情報は、『[Sun Blade X3-2B \(旧 Sun Blade X6270 M3\) プロダクトノート](#)』に記載されています。このドキュメント、その他のサーバー固有のドキュメント、および関連ドキュメントは、次のサーバーモジュールドキュメントライブラリでオンラインで入手できます:

<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=SunBladeX3-2B>

関連情報

- [12 ページの「ソフトウェアのインストールオプション」](#)
- [21 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」](#)

サポートされているソフトウェアバージョンおよびサーバーモジュール更新

VMware ESXi のサポートされている最小バージョンは ESXi 5 です。

ESXi のその他のサポートされているバージョンおよびサーバー更新の詳細については、『[Sun Blade X3-2B \(旧 Sun Blade X6270 M3\) プロダクトノート](#)』を参照してください。

ソフトウェアのインストールオプション

このドキュメントでは、ローカルおよびリモートのインタラクティブ ESXi 5.0 インストールについて説明します。ソフトウェアのインストールについては、ほかにも VMware ESXi 5.0 ドキュメントに記載されているオプションがあります。

VMware ESXi 5.0 では、次のオプションを利用できます:

- インタラクティブ **ESXi** インストール: サーバーが 5 台未満のインストールの場合は、この方法をお勧めします。
このドキュメントで説明するインタラクティブインストール方法については、[13 ページの「単一サーバーでのインタラクティブインストールの方法」](#)を参照してください。
- スクリプトによる **ESXi** インストール: スクリプトの実行は、無人のインストールで複数の ESXi ホストを配備するための効率的な方法です。

スクリプトによるインストールの手順については、xSphere 5.0、ESXi 5.0、および vCenter Server 5.0 の『vSphere のインストールとセットアップ』を参照してください。

- **vSphere 自動配備 ESXi インストール:** vSphere 自動配備 ESXi インストールでは、vCenter Server で多数の ESXi ホストを効率的にプロビジョニングおよび再プロビジョニングできます。
自動配備インストールの手順については、xSphere 5.0、ESXi 5.0、および vCenter Server 5.0 の『vSphere のインストールとセットアップ』を参照してください。
- **ESXi イメージビルダー CLI:** ESXi イメージビルダーを使用して、カスタマイズされた更新、パッチ、およびドライバのセットを含む ESXi インストールイメージを作成できます。
ESX イメージビルダー CLI の手順については、xSphere 5.0、ESXi 5.0、および vCenter Server 5.0 の『vSphere のインストールとセットアップ』を参照してください。

関連情報

- [12 ページの「VMware ESXi 5 およびサーバーモジュールのドキュメント」](#)
- [21 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」](#)

単一サーバーでのインタラクティブインストールの方法

このドキュメントでは、単一サーバーでのリモートまたはローカルインストール用のインストール環境をセットアップする手順について説明します。サーバーの数が少ない配備では、インタラクティブインストールをお勧めします。

| メディアの配布方法 | その他の要件 | インストール手順へのリンク |
|--|---|--|
| ローカルでの CD/DVD/USB ドライブの使用 – サーバーまたはサーバー USB ドライブに接続した物理 CD/DVD ドライブを使用します。 | モニター、USB キーボードおよびマウス、USB CD/DVD ドライブ、および ESXi 5.0 配布メディア。 | 21 ページの「ローカルまたはリモートのインタラクティブインストールを使用した VMware ESXi 5 のインストール」 |

| メディアの配布方法 | その他の要件 | インストール手順へのリンク |
|--|--|---|
| リモートでの CD/DVD ドライブまたは CD/DVD の ISO イメージの使用 – Oracle ILOM リ モートコンソールア プリケーションを実 行しているリモート システム上の、リダ イレクトされた物理 CD/DVD ドライブを 使用します。 | ブラウザを備えたりリモートシステ ム、接続された物理 CD/DVD ドライ ブ、ESXi 配布メディア、および サーバーの管理ポートへのネット ワークアクセス。 | 21 ページの「ローカルまたはリ モートのインタラクティブインス トールを使用した VMware ESXi 5 の インストール」 |
| PXE イメージ – PXE サーバーにインス トールされた OS イ メージを使用しま す。 | OS イメージがインストールされた PXE サーバー。 | PXE サーバーインストールは、この ドキュメントの適用範囲に含まれま せん。 PXE インストールについて は、xSphere 5.0、ESXi 5.0、および vCenter Server 5.0 で『vSphere のイン ストールとセットアップ』を参照し てください。 |

関連情報

- [15 ページの「ESXi 5 のインストールの準備」](#)
- [21 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」](#)

ESXi 5 のインストールの準備

次の表に、ESXi 5 のインタラクティブインストールの大まかな準備手順をまとめます。

注 - PXE サーバーを使用して ESXi 5 インタラクティブインストールを実行することもできます。PXE サーバーを使用した ESXi のインストールについては、vSphere 5.0、ESXi 5.0、および vCenter Server 5.0 の『vSphere のインストールとセットアップ』を参照してください。

| 説明 | リンク |
|---------------------------------|--|
| 該当する手順を使用して、インストール環境をセットアップします。 | 15 ページの「ローカルインストールの設定」 16 ページの「リモートインストールのセットアップ」 |
| インストールに必要な情報を収集します。 | 17 ページの「必要な情報の収集」 |
| BIOS ブートモードを設定します (必要な場合)。 | 18 ページの「BIOS モードの設定」 |
| 仮想ディスクを作成します (必要な場合)。 | 19 ページの「仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定」 |

▼ ローカルインストールの設定

- 始める前に
- サーバーハードウェアの時計が UTC に設定されていることを確認します。この設定は、システム BIOS 内にあります。
 - ネットワークストレージの切り離しを検討します。この操作により、インストーラが利用できるディスクドライブを検索するのにかかる時間が短縮されます。

注-ネットワークストレージを切り離すと、切り離されたディスク上のファイルはインストール時に利用できなくなります。既存の ESX または ESXi インストールを含む LUN は切り離さないでください。既存の ESX インストールのサービスコンソールを含む VMFS データストアは切り離さないでください。これらの操作は、インストールの結果に影響を及ぼす可能性があります。

- 1 『[Sun Blade X3-2B \(旧 Sun Blade X6270 M3\) プロダクトノート](#)』 および VMware のドキュメントを確認してください。
 - Sun Blade X3-2B のドキュメントは、次の Web サイトで入手できます：
<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=SunBladeX3-2B>
 - VMware ESXi 5 ソフトウェアのドキュメントは、次の Web サイトで入手できます：
<http://pubs.vmware.com/vsphere-50/index.jsp>
- 2 VMware の Web サイトから VMware ESXi 5 イメージ(.iso) ファイルのコピーをダウンロードします：
<http://www.vmware.com/download/>
- 3 .iso ファイルを DVD または USB ドライブに書き込みます。
- 4 サーバーモジュールドングルケーブルに次を接続します：
 - DVD-ROM ドライブ (必要な場合)
 - USB キーボードとマウス
 - モニター

サーバーを配線する方法の詳細については、『[Sun Blade X3-2B \(旧 Sun Blade X6270 M3\) 設置ガイド](#)』の「サーバーモジュールの配線」を参照してください。

- 次の手順
- 19 ページの「仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定」
 - 21 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」

▼ リモートインストールのセットアップ

- 1 『[Sun Blade X3-2B \(旧 Sun Blade X6270 M3\) プロダクトノート](#)』 および VMware のドキュメントを確認してください。
 - Sun Blade X3-2B のドキュメントは、次の Web サイトで入手できます：
<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=SunBladeX3-2B>
 - VMware ESXi 5 ソフトウェアのドキュメントは、次の Web サイトで入手できます：
<http://pubs.vmware.com/vsphere-50/index.jsp>

- 2 次の方法のいずれかで <http://www.vmware.com/download/> から VMware ESXi 5 ソフトウェアをダウンロードします:
 - VMware ESXi 5 ソフトウェアをダウンロードし、ダウンロードした .iso イメージを使用してインストール CD/DVD を作成します。
 - リモートサーバーにソフトウェアをダウンロードします。
- 3 次をリモートサーバーに接続します:
 - DVD-ROM ドライブ (メディアからインストールする場合)
 - USB キーボードとマウス
 - モニター
- 4 ILOM リモートコンソールを設定します。

ILOM リモートコンソールの設定手順については、『[Sun Blade X3-2B \(旧 Sun Blade X6270 M3\) 設置ガイド](#)』の「リモートコンソールを使用してサーバーモジュールに接続する」を参照してください。

- 次の手順
- 19 ページの「仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定」
 - 21 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」

必要な情報の収集

インタラクティブインストールでは、必要なシステム情報を求めるプロンプトがシステムで表示されます。スクリプトによるインストールでは、インストールスクリプトでこの情報を指定する必要があります。

将来の使用に備えて、インストール中に使用する値をメモしておいてください。これらのメモは、ESXi を再インストールし、最初に選択した値を再入力する必要がある場合に役に立ちます。

| 情報 | 必須またはオプション | デフォルト | コメント |
|------------|------------|---------|---------------|
| キーボードレイアウト | 必須 | U.S. 英語 | |
| VLAN ID | オプション | なし | 範囲: 0 から 4094 |

| 情報 | 必須またはオプション | デフォルト | コメント |
|--|--|------------------------------|---|
| IP アドレス | オプション | DHCP | インストール中に DHCP がネットワークを構成できるようにすることができます。インストール後、ネットワーク設定を変更できます。 |
| サブネットマスク | オプション | IP アドレスに基づいて計算される | |
| ゲートウェイ | オプション | 構成された IP アドレスおよびサブネットマスクに基づく | |
| プライマリ DNS | オプション | 構成された IP アドレスおよびサブネットマスクに基づく | |
| セカンダリ DNS | オプション | なし | vSphere クライアントは、ESXi ホストにアクセスするためにホスト名または IP アドレスを使用できます。 |
| ホスト名 | 静的な IP 設定の場合は必須 | なし | |
| インストール場所 | 必須 | なし | 1つのディスクにコンポーネントをインストールする場合は、少なくとも 5GB が必要です。 |
| 既存の ESX または ESXi 設定を移行します。既存の VMFS データストアを保持します。 | 既存の ESXi または ESX インストールを含むドライブに ESXi をインストールする場合は必須。 | なし | ESXi ドキュメントで、「既存の ESX/ESXi インストールまたは VMFS データストアを持つドライブへの ESXi のインストール」を参照してください。 |
| root パスワード | オプション | なし | root パスワードには、6 から 64 文字が含まれている必要があります。 |

▼ BIOS モードの設定

BIOS ファームウェアは、レガシー BIOS と UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) の両方をサポートしていますが、デフォルト設定は Legacy です。ESXi がレガシー BIOS と UEFI BIOS の両方をサポートしている場合は、OS のインストールを実行する前に、レガシーモードと UEFI モードのどちらかに BIOS を設定できます。

注- ネットワーク経由で VMware ESXi 5.0 インストールを実行する場合は、UEFI BIOS はサポートされません。デフォルトのレガシー BIOS モードを使用する必要があります。

- 1 サーバーの電源を入れます。
コンソールに POST メッセージが表示されます。
- 2 メッセージに注目し、プロンプトが表示されたら、**F2** を押して **BIOS 設定ユーティリティー** にアクセスします。
BIOS 設定ユーティリティーのメイン画面が表示されます。
- 3 **BIOS 設定ユーティリティー** で、左右の矢印キーを使用して「**Boot**」画面に移動します。
「Boot Menu」画面が表示されます。
- 4 下矢印キーを使用して、「**UEFI/BIOS Boot Mode**」フィールドを選択します。
- 5 **Enter** を押し、上下の矢印キーを使用して、**Legacy** または **UEFI BIOS** オプションを選択します。
- 6 変更を保存して **BIOS 設定ユーティリティー** を終了するには、**F10** を押します。

- 次の手順
- [19 ページの「仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定」](#)
 - [21 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」](#)

仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定

Sun Storage RAID 6Gb/s SAS RAID REM HBA (SGX-SAS6-R-REM-Z) がサーバーモジュールに取り付けられている場合は、ESXi 5 ソフトウェアをインストールする前に仮想ディスクを作成する必要があります。『[Sun Blade X3-2B \(旧 Sun Blade X6270 M3\) 設置ガイド](#)』の「[オペレーティングシステムをインストールするストレージデバイスの準備](#)」を参照してください。

Sun Storage 6Gb/s SAS REM HBA (SGX-SAS6-REM-Z) が取り付けられている場合は、これを行う必要はありません。

VMware ESXi 5 のインストール

VMware ESX/ESXi 5 のインストールには次の手順が含まれます。

| 手順 | 説明 | リンク |
|----|--|--|
| 1 | ローカルまたはリモートメディアを使用して VMware ESXi 5 をインストールします。 | 21 ページの「ローカルまたはリモートのインタラクティブインストールを使用した VMware ESXi 5 のインストール」 |
| 2 | VMware ESXi 5 ソフトウェアおよびドライバを更新します。 | 23 ページの「VMware ESXi 5 の更新」 |

注 - PXE サーバーを使用して ESXi 5 インタラクティブインストールを実行することもできます。PXE サーバーを使用した ESXi のインストールについては、ESXi 5.0 のインストールおよびセットアップドキュメントを参照してください。

▼ ローカルまたはリモートのインタラクティブインストールを使用した **VMware ESXi 5** のインストール

始める前に [15 ページの「ESXi 5 のインストールの準備」](#) の準備手順をすべて完了します。

- 1 サーバーのインストールガイドに記載されている方法のいずれかを使用してサーバーコンソールに接続します。手順については、次のいずれかを参照してください:
 - [15 ページの「ローカルインストールの設定」](#)
 - [16 ページの「リモートインストールのセットアップ」](#)
- 2 サーバーの電源を入れるか、またはリセットします。
BIOS メッセージがコンソールに表示されます。

- ローカルまたはリモートサーバーに配布メディアを挿入します。
コンソールに別の BIOS メッセージが表示されます。

- メッセージで選択肢が表示されたら、**F8**を押します。

```
Initializing USB Controllers .. Done.  
Press F2 to run Setup (CTRL+E on Remote Keyboard)  
Press F8 for BBS POPUP (CTRL+P on Remote Keyboard)  
Press F12 to boot from the network (CTRL+N on Remote Keyboard)
```

しばらくすると、メニューでブートデバイスが選択できるようになります。

```
      Please select boot device:  
-----  
USB CD/DVD  
PXE:IBA GE Slot 1000 v1331  
PXE:IBA GE Slot 1001 v1331  
PXE:IBA GE Slot 4100 v1331  
PXE:IBA GE Slot 4101 v1331  
PXE:IBA GE Slot 8100 v1331  
PXE:IBA GE Slot 8101 v1331  
PXE:IBA GE Slot C100 v1331  
PXE:IBA GE Slot C101 v1331  
-----
```

- リストから「**CD/DVD or USB drive**」を選択します。
制御がメディア上の OS インストールプログラムに移ります。
- VMware vSphere 5** ドキュメントの手順に従ってインストールを完了します。
[12 ページの「VMware ESXi 5 およびサーバーモジュールのドキュメント」](#)を参照してください。

- 次の手順
- [22 ページの「VMware ESXi 5 ドライバのインストール」](#)
 - [23 ページの「VMware ESXi 5 の更新」](#)

▼ VMware ESXi 5 ドライバのインストール

注 - この時点で、VMware ESXi 5 がインストールされたシステムから Oracle System Assistant USB にアクセスすることはできません。この手順で説明されているとおり、My Oracle Support からドライバにアクセスする必要があります。

- サーバーシステムの最新のツールおよびドライバを **My Oracle Support** サイトからサーバーにダウンロードまたはコピーします。
システムのツールとドライバにアクセスする方法の詳細は、[25 ページの「サーバーファームウェアとソフトウェアの入手」](#)を参照してください。

- 2 パッケージを解凍してファイルを展開します。
- 3 ファイルブラウザまたはターミナルウィンドウで、**ESX** ドライバディレクトリに移動します:
`VMware/ESXi//version /Drivers/`
ここで、*version* は、インストールされている Oracle VM のバージョンです。
- 4 インストールするドライバに対応するディレクトリにアクセスします:
NEM-SOL: Sun Blade 6000 Virtualized 40 GbE Network Express Module ドライバの場合
`sun-nem-hydra: Sun Blade 6000 Virtualized Multi-Fabric 10GbE M2 Network Express Module`
ドライバ用
各ディレクトリにはドライバのインストール手順が含まれています。
- 5 ドライバをインストールします。
- 6 サーバーを再起動します。

次の手順 ■ 23 ページの「VMware ESXi 5 の更新」

▼ VMware ESXi 5 の更新

- 1 VMware ESXi 5 の更新を実行する前に、**ESXi 5.0** のインストールおよびセットアップドキュメントを参照してください。
- 2 VMware の Web サイトを調べて、利用できる更新があるかどうかを確認します。
<http://www.vmware.com/support/>
- 3 VMware の Web サイトで説明されているように、すべての更新をダウンロードしてインストールします。

参考 関連情報

- 21 ページの「ローカルまたはリモートのインタラクティブインストールを使用した VMware ESXi 5 のインストール」
- 22 ページの「VMware ESXi 5 ドライバのインストール」

サーバーファームウェアとソフトウェアの入手

このセクションでは、サーバーのファームウェアとソフトウェアにアクセスするためのオプションについて説明します。

| 説明 | リンク |
|---|---|
| ファームウェアとソフトウェアのアップデートについて説明します。 | 25 ページの「ファームウェアとソフトウェアのアップデート」 |
| ファームウェアとソフトウェアを入手するためのオプションについて学習します。 | 26 ページの「ファームウェアおよびソフトウェア入手のオプション」 |
| 入手可能なファームウェアとソフトウェアのパッケージを示します。 | 26 ページの「入手可能なソフトウェアリリースパッケージ」 |
| Oracle System Assistant、My Oracle Support、または物理メディアのリクエストによって、ファームウェアとソフトウェアのパッケージを入手します。 | 28 ページの「ファームウェアとソフトウェアの入手」 |
| ファームウェアとソフトウェアのアップデートをインストールします。 | 32 ページの「アップデートのインストール」 |

ファームウェアとソフトウェアのアップデート

サーバー用のハードウェアドライバやツールなどのファームウェアおよびソフトウェアは、定期的に更新されます。アップデートはソフトウェアリリースとして公開されます。ソフトウェアリリースは、サーバーで使用できるすべてのファームウェア、ハードウェアドライバ、およびユーティリティを含む、ダウンロード(パッチ)のセットです。これらはすべてまとめてテストされています。ダウンロードに含まれている Read Me ドキュメントに、前回のソフトウェアリリースから変更された点と変更されていない点が説明されています。

サーバーのファームウェアとソフトウェアは、ソフトウェアリリースが入手可能になりしだい、更新してください。ソフトウェアリリースには、多くの場合はバグの修正が含まれていて、更新によってサーバーモジュールソフトウェアは、最新のシャーシファームウェアおよびその他のシャーシコンポーネントのファームウェアやソフトウェアとの互換性を確保できます。

ダウンロードパッケージ内の Read Me ファイルおよび『Sun Blade X3-2B (旧 Sun Blade X6270 M3) プロダクトノート』には、ダウンロードパッケージ内の更新済みのファイル、および現在のリリースで修正されているバグに関する情報が記載されています。さらに、プロダクトノートには、最新のシャシーのファームウェアでサポートされているサーバーモジュールソフトウェアのバージョンに関する情報も記載されています。

ファームウェアおよびソフトウェア入手のオプション

次のオプションのいずれかを使用して、サーバーの最新ファームウェアおよびソフトウェアセットを入手します:

- **Oracle System Assistant** – Oracle System Assistant は、出荷時にインストールされる Oracle サーバー用の新しいオプションであり、サーバーのファームウェアおよびソフトウェアを簡単にダウンロードおよびインストールできるように支援します。

Oracle System Assistant の使用方法の詳細は、『Sun Blade X3-2B (旧 Sun Blade X6270 M3) 管理ガイド』の「[Oracle ILOM Web インタフェースからの Oracle System Assistant へのアクセス](#)」を参照してください。

- **My Oracle Support** – システムのすべてのファームウェアとソフトウェアは、My Oracle Support (<http://support.oracle.com>) から入手できます。

My Oracle Support で入手できるものの詳細は、[26 ページの「入手可能なソフトウェアリリースパッケージ」](#)を参照してください。

My Oracle Support からソフトウェアリリースをダウンロードする方法は、[28 ページの「My Oracle Support を使用してファームウェアとソフトウェアをダウンロードする」](#)を参照してください。

- **物理メディアのリクエスト (PMR)** – My Oracle Support から入手できるダウンロード (パッチ) が含まれている DVD をリクエストできます。

詳細は、[30 ページの「物理メディアのリクエスト \(オンライン\)」](#)を参照してください。

入手可能なソフトウェアリリースパッケージ

My Oracle Support では、ダウンロードは製品ファミリ、製品、およびバージョン別にグループ分けされています。バージョンには1つ以上のダウンロード (パッチ) が含まれます。

サーバーとブレードの場合、パターンは似ています。製品種別はサーバーです。サーバーごとにリリースセットが含まれます。これらのリリースは本当のソフトウェア製品のリリースではなく、サーバー用のアップデートのリリースです。これらのアップデートはソフトウェアリリースと呼ばれ、まとめてテスト済みの複数

のダウンロードで構成されます。各ダウンロードには、ファームウェア、ドライバ、またはユーティリティが含まれます。

My Oracle Support には、次の表に示したとおりの、このサーバーファミリ向けのダウンロードタイプのセットが含まれます。これらは物理メディアのリクエスト (PMR) によってリクエストすることもできます。Oracle System Assistant を使用しても、同じファームウェアおよびソフトウェアをダウンロードできます。

| パッケージ名 | 説明 | このパッケージをダウンロードするタイミング |
|---|--|---|
| X3-2B SWversion – Firmware Pack | Oracle ILOM、BIOS、およびオプションカードファームウェアを含む、すべてのシステムファームウェア。 | 最新のファームウェアが必要なとき。 |
| X3-2B SWversion – OS Pack | OS パックは、サポートされているオペレーティングシステムのバージョンごとに入手できます。各 OS パックには、該当のバージョンの OS 用のすべてのツール、ドライバ、およびユーティリティのパッケージが含まれています。 ソフトウェアには、Oracle Hardware Management Pack および LSI MegaRAID ソフトウェアが含まれます。 | OS 固有のドライバ、ツール、またはユーティリティをアップデートする必要があるとき。 |
| X3-2B SWversion – All packs | Firmware Pack、すべての OS Pack、およびすべてのドキュメントを含みます。 このパックに SunVTS または Oracle System Assistant のイメージは含まれません。 | システムファームウェアと OS 固有ソフトウェアの組み合わせをアップデートする必要があるとき。 |
| X3-2B SWversion – Diagnostics | SunVTS 診断イメージ。 | SunVTS 診断イメージが必要なとき。 |
| X3-2B SWversion – Oracle System Assistant Updater | Oracle System Assistant アップデータおよび ISO アップデートイメージ。 | Oracle System Assistant を手動で復旧またはアップデートする必要があるとき。 |

各ダウンロードは zip ファイルで、Read Me と、ファームウェアまたはソフトウェアのファイルを含むサブディレクトリのセットが含まれています。Read Me ファイルに

は、前回のソフトウェアリリース以降に変更されたコンポーネントと、修正済みのバグの詳細が記載されています。これらのダウンロードのディレクトリ構造の詳細は、『Sun Blade X3-2B (旧 Sun Blade X6270 M3) 管理ガイド』を参照してください。

ファームウェアとソフトウェアの入手

このセクションでは、ソフトウェアリリースファイルをダウンロードまたはリクエストする方法について説明します。

注 - Oracle System Assistant を使用して、最新のソフトウェアリリースを簡単にダウンロードして使用することもできます。詳細は、『Sun Blade X3-2B (旧 Sun Blade X6270 M3) 管理ガイド』を参照してください。

アップデートされたファームウェアとソフトウェアには、ほかにも2つの入手方法があります。

- 28 ページの「My Oracle Support を使用してファームウェアとソフトウェアをダウンロードする」
- 29 ページの「物理メディアをリクエストする」

▼ My Oracle Support を使用してファームウェアとソフトウェアをダウンロードする

- 1 <http://support.oracle.com> にアクセスします
- 2 My Oracle Support にサインインします。
- 3 ページ上部にある「パッチと更新版」タブをクリックします。
「パッチと更新版」画面が表示されます。
- 4 「検索」画面で、「製品またはファミリー (拡張検索)」をクリックします。
画面に検索フィールドが表示されます。
- 5 「製品」フィールドで、ドロップダウンリストから製品を選択します。
あるいは、製品名 (たとえば、Sun Blade X3-2B) の全体または一部を、一致するものが表示されるまで入力します。

- 6 「リリース」フィールドで、ドロップダウンリストからソフトウェアリリースを選択します。
入手可能なすべてのソフトウェアリリースを表示するには、フォルダを展開します。
- 7 「検索」をクリックします。
ソフトウェアリリースは、ダウンロード (パッチ) のセットで構成されます。
入手可能なダウンロードの説明については、[26 ページの「入手可能なソフトウェアリリースパッケージ」](#)を参照してください。
- 8 パッチを選択するには、パッチ名の横にあるチェックボックスをクリックします (複数のパッチを選択できます)。
アクションパネルがポップアップ表示されます。このパネルには複数のアクションのオプションが表示されます。
- 9 アップデートをダウンロードするには、ポップアップパネルの「ダウンロード」をクリックします。
自動的にダウンロードが開始されます。

物理メディアをリクエストする

手続き上、Oracle Web サイトからダウンロードできない場合は、物理メディアのリクエスト (PMR) によって最新のソフトウェアリリースを入手できます。

次の表で、物理メディアのリクエストを行うための大まかなタスクについて説明し、詳細情報のリンクを示します。

| 説明 | リンク |
|---|---|
| リクエストを行うために必要な情報を収集します。 | 29 ページの「物理メディアのリクエスト用の情報を収集する」 |
| オンラインで、または Oracle サポートに電話することで、物理メディアをリクエストします。 | 30 ページの「物理メディアのリクエスト (オンライン)」 31 ページの「物理メディアのリクエスト (電話)」 |

物理メディアのリクエスト用の情報を収集する

物理メディアのリクエスト (PMR) を行うには、サーバーの保証またはサポート契約が必要です。

PMR を実行する前に、次の情報を収集します:

- 製品名、ソフトウェアリリースのバージョン、および必要なパッチを把握します。最新のソフトウェアリリースと、リクエストするダウンロードパッケージ(パッチ)の名前がわかっていると、より簡単にリクエストを行うことができます。
- *My Oracle Support* にアクセスできる場合 - 28 ページの「[My Oracle Support を使用してファームウェアとソフトウェアをダウンロードする](#)」の手順に従って、最新のソフトウェアリリースを確認し、入手可能なダウンロード(パッチ)を表示します。パッチのリストを表示したあとに、ダウンロード手順を続けない場合は、「パッチ検索結果」ページから移動できます。
- *My Oracle Support* にアクセスできない場合 - 26 ページの「[入手可能なソフトウェアリリースパッケージ](#)」にある情報を使って、目的のパッケージを判断してから、最新のソフトウェアリリース用のこれらのパッケージをリクエストしてください。
- 送付先情報を用意します。リクエストのためには、連絡先、電話番号、電子メールアドレス、会社名、および送付先住所を提供する必要があります。

▼ 物理メディアのリクエスト(オンライン)

始める前に リクエストを行う前に、29 ページの「[物理メディアのリクエスト用の情報を収集する](#)」に記載されている情報を収集します。

- 1 <http://support.oracle.com> にアクセスして、サインインします。
- 2 ページの右上隅にある「問合せ先」リンクをクリックします。
- 3 「リクエストの説明」セクションで、次を入力します:
 - a. 「リクエスト・カテゴリ」ドロップダウンリストから、次を選択します:
物理メディアのリクエスト(レガシー Oracle 製品、Primavera、BEA、Sun 製品)
 - b. 「リクエスト・サマリー」フィールドに、次を入力します:
Sun Blade Sun Blade X3-2B の最新ソフトウェアリリースの PMR
- 4 「リクエスト詳細」セクションで、次の表に示されている質問に回答します:

| 質問 | 回答 |
|----------------------------|--------|
| 物理ソフトウェアメディアの送付リクエストですか? | はい |
| どの製品ラインに関係するメディアのリクエストですか? | Sun 製品 |

| 質問 | 回答 |
|--|--|
| パッチのダウンロードに必要なパスワードの確認ですか？ | いいえ |
| CD/DVD でのパッチのリクエストですか？ | はい |
| パッチを CD や DVD でリクエストする場合、パッチの番号、OS とプラットフォームをお知らせください。 | 該当するソフトウェアリリースのダウンロードごとに、パッチ番号を入力します。 |
| リクエストする製品名とバージョンをお知らせください。 | 製品名: Sun Blade X3-2B バージョン: 最新のソフトウェアリリース番号。 |
| リクエストするメディアの OS とプラットフォームをお知らせください。 | OS 固有のダウンロードをリクエストする場合は、ここで OS を指定します。システムファームウェアのみをリクエストする場合は、「一般」と入力します。 |
| この送付に言語は必要ですか？ | いいえ |

- 5 送付先の担当者、電話番号、電子メールアドレス、会社名、および送付先住所の情報をに入力します。
- 6 「次へ」をクリックします。
- 7 「関連ファイル」の下に **Knowledge Article 1361144.1** とに入力します
- 8 「送信」をクリックします。

▼ 物理メディアのリクエスト (電話)

始める前に リクエストを行う前に、[29 ページの「物理メディアのリクエスト用の情報を収集する」](#)に記載されている情報を収集します。

- 1 **Oracle Global Customer Support Contacts Directory** にある適切な番号を使用して、**Oracle** サポートに電話します:
<http://www.oracle.com/us/support/contact-068555.html>
- 2 **Sun Blade X3-2B** の物理メディアのリクエスト (PMR) を行いたい旨を **Oracle** サポートに伝えます。
 - **My Oracle Support** から特定のソフトウェアリリースおよびパッチ番号の情報にアクセスできる場合は、この情報をサポート担当者に伝えます。

- ソフトウェアリリース情報にアクセスできない場合は、**Sun Blade X3-2B** の最新のソフトウェアリリースをリクエストしてください。

アップデートのインストール

以降のトピックでは、ファームウェアとソフトウェアのアップデートのインストールに関する情報を提供します:

- [32 ページの「ファームウェアをインストールする」](#)
- [33 ページの「ハードウェアドライバと OS ツールのインストール」](#)

ファームウェアをインストールする

更新されたファームウェアは、次のいずれかを使用してインストールできます:

- **Oracle Enterprise Manager Ops Center** – Ops Center Enterprise Controller では、Oracle から自動的に最新のファームウェアをダウンロードするか、Enterprise Controller 内にファームウェアを手動でロードできます。どちらの場合も、Ops Center が 1 つ以上のサーバー、ブレード、またはブレードシャーシ上にファームウェアをインストールできます。

詳細については、次にアクセスしてください:

<http://www.oracle.com/us/products/enterprise-manager/opscenter/index.html>

- **Oracle System Assistant** – Oracle System Assistant では、Oracle の最新のファームウェアをダウンロードしてインストールできます。

詳細は、『[Sun Blade X3-2B \(旧 Sun Blade X6270 M3\) 管理ガイド](#)』の「サーバー構成のための [Oracle System Assistant の使用](#)」を参照してください。

- **Oracle Hardware Management Pack** – Oracle Hardware Management Pack 内の fwupdate CLI ツールを使用して、システム内のファームウェアを更新できます。

詳細については、次にアクセスしてください: <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=ohmp>。

- **Oracle ILOM** – Oracle ILOM および BIOS ファームウェアは、Oracle ILOM Web インタフェースおよび Oracle ILOM CLI を使用して更新できる唯一のファームウェアです。

詳細については、次にアクセスしてください: <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=ilom31>。

ハードウェアドライバと **OS** ツールのインストール

更新されたハードウェアドライバとオペレーティングシステム (OS) 関連のツール (Oracle Hardware Management Pack など) は、次のいずれかを使用してインストールできます:

- **Oracle Enterprise Manager Ops Center** – 詳細については、次にアクセスしてください:

<http://www.oracle.com/us/products/enterprise-manager/opscenter/index.html>

- **Oracle System Assistant** – 詳細は、『[Sun Blade X3-2B \(旧 Sun Blade X6270 M3\) 管理ガイド](#)』の「[Oracle System Assistant によるサーバーの設定](#)」を参照してください。
- JumpStart、Kickstart、またはサードパーティー製ツールなどのその他の配備メカニズム。

詳細は、使用している OS のドキュメントを参照してください。

索引

B

BIOS, ブートモード、設定 (ESXi), 18–19

E

ESXi

- インストール, 15–19

 - 必要な情報, 17

- インストールオプション, 12

- インストールのセットアップ

 - リモート, 16–17

 - ローカル, 15–16

- インストールのタスク, 11–14

- インストールの方法, 13

- インタラクティブインストール

 - リモート, 21–22

 - ローカル, 21–22

- 更新, 23

- ドキュメント, 12

- ドライバのインストール, 22–23

O

OS のインストール, ESXi, 9

U

UEFI (Unified Extensible Firmware Interface), 「BIOS
を参照」を参照

V

VMware ESXi, 「ESXi」を参照

さ

サポート対象

- オペレーティングシステム

 - ESXi, 12

し

手動による OS インストール, ESXi, 21–22

つ

ツールおよびドライバ

- インストール

 - ESXi, 21–23

と

ドキュメント, ESXi, 12

ドライバ

- インストール

 - ESXi, 22–23

は

ハードウェアおよびソフトウェア
情報

ESXi, 12

ふ

プロダクトノートドキュメント, ESXi, 12

り

リモートインストール, セットアップ
(ESXi), 16-17

ろ

ローカルインストール, セットアップ
(ESXi), 15-16